

三島工業団地ニュース

No.2 令和6年5月1日

Vol.46 三島工業団地協同組合

「静岡県の景気概況」

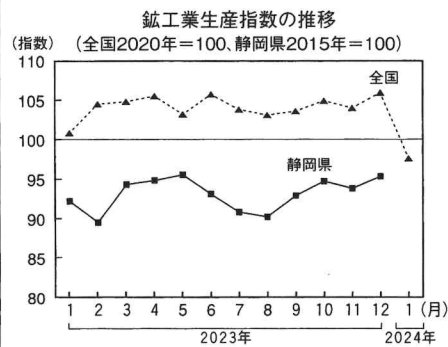
静岡経済研究所 景況レポート 2024年4月号より抜粋

"賃上げを起点とする県内経済の好循環に期待"

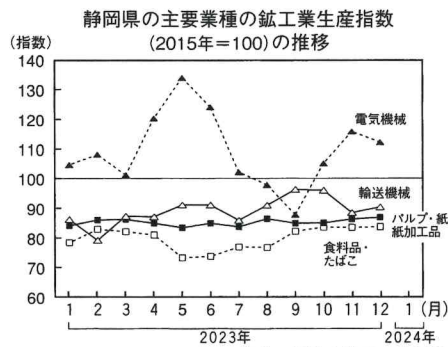
物価高による買い控えなどを背景に個人消費はやや弱含んでいるものの、一部完成車メーカーの生産停止による県内への影響は限定的で輸送用機器を中心に企業の生産活動は堅調に推移しており、本県景気は緩やかな回復基調にある。

県内企業の2024年度国内設備投資計画額は前年度比+6.5%と、投資が旺盛だった23年度をさらに上回る見通し。企業業績の好転を背景に生産能力増強や新製品開発のほか、環境関連やデジタル投資にも意欲的なスタンスがみられる。

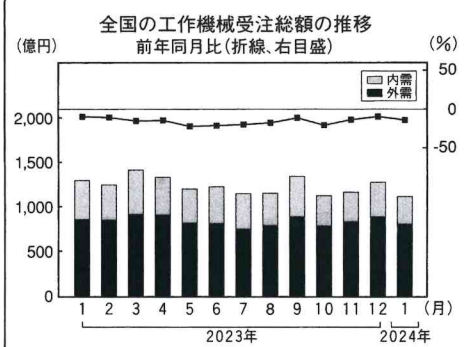
今年の春闘では大手企業の多くが満額回答するなど、賃上げ機運は昨年以上に高まっている。こうした動きが県内中小企業にも波及することで、賃上げによって消費が喚起され企業収益が向上する好循環が生まれることが期待される。



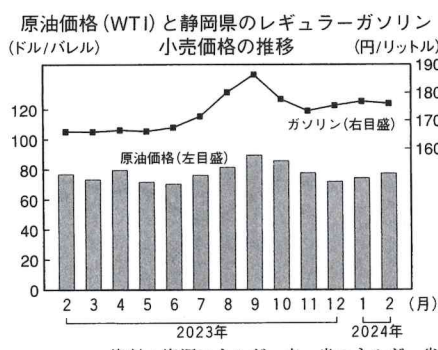
12月の静岡県の鉱工業生産指数は95.3(季節調整済、2015年=100)で前月比+1.6%と、2カ月ぶりに上昇したが、32カ月連続で100を下回った。主要業種(季節調整済)では、パルプ・紙・紙加工品86.9(前月比+0.7%)が4カ月連続で上昇したほか、輸送機械90.4(同+2.1%)、食料品・たばこ



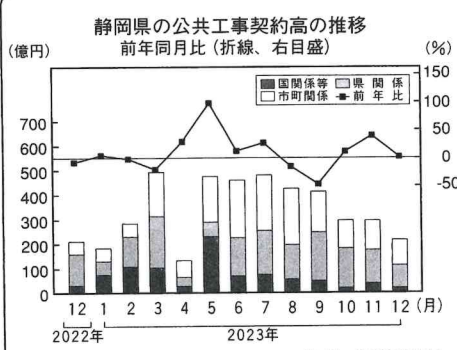
83.7(同+0.2%)も前月を上回ったが、電気機械112.2(同△3.1%)が3カ月ぶりに前月を下回った。その他、汎用・生産用・業務用機械117.9(前月比+7.8%)や化学112.6(同+0.7%)、ゴム製品74.2(同+0.3%)などが上昇、プラスチック製品106.0(同△1.0%)などが低下した。



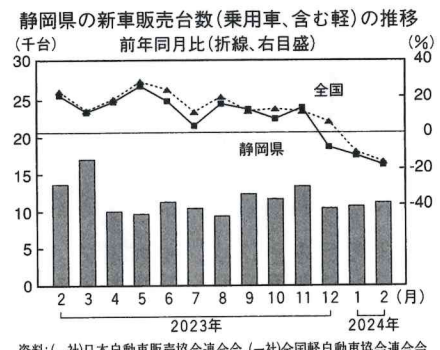
1月の工作機械受注総額(全国)は1,109億6,000万円で前年比△14.0%と、13カ月連続で前年を下回った。内訳は、内需が306億3,000万円(前年比△29.5%)で17カ月連続して前年比マイナス、外需も803億5,700万円(同△6.2%)で13カ月連続して前年を下回った。



2月の原油価格(WTI、月平均)は1バレル=77.25ドルで前月比+3.10ドルと、2カ月連続で上昇した。前年比では+0.42ドルの上昇となった。静岡県レギュラーガソリン小売価格(第1月曜店頭現金価格)は1ℓ=176.1円(前月比△0.8円)と3カ月ぶりに下落した。



12月の静岡県内の公共工事契約金額(速報)は214億7,398万円で前年比+1.8%と、3カ月連続で前年を上回った。発注先別契約額は、国関係等が19億円(前年比△39.1%)、県関係が93億円(同△27.3%)と減少したが、市町関係が103億円(同+96.8%)と前年を大きく上回った。



2月の静岡県内の新車販売台数(乗用車、含む軽自動車)は11,170台で前年比△17.9%と、3カ月連続でマイナスとなった。車種別では、普通車が6,474台(前年比△14.3%)、軽自動車も4,696台(同△22.5%)と、ともに3カ月連続で前年を下回った。